



品川区長
濱野 健

この度、東京 2020 NIPPON フェスティバル共催プログラムとして採択いただいた「インクルーシブ NIPPON Shinagawa 発 2020 能・狂言特別公演」は、障がいの有無、年齢や国籍に関わらずあらゆる人が出会い、共に楽しみ、新たな価値観を発見する共生社会の実現に向け、品川区文化芸術振興協議会会員である公益財団法人十四世六平太記念財団・社会福祉法人トット基金と共に実施いたします。

外国人や聴覚障がいをもつ子どもたちを対象にした手話狂言やワークショップ等5つのプログラムを開催し、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を文化面から盛り上げ、伝統演劇である能楽の可能性を品川区から国内外へ発信していきます。

これらのプログラムを通して、少しでも多くの方々に能楽に触れ親しんでいただくことで、多文化共生が根付き、さらに心豊かな社会となるよう願っております。



社会福祉法人トット基金
理事長 黒柳 徹子

日本ろう者劇団のレパートリーの中で一番力を入れているのが手話狂言です。なにもかもが手探りで、初めて手話狂言を披露した、イタリア・パレルモの「世界ろう者会議・演劇祭典」を、今でも昨日のこつのように覚えています。あれから38年、三宅右近さんの厳しい稽古に耐え、世界中で公演を重ねてきた俳優たちは、今では立派な狂言師になりました。

東京オリンピック・パラリンピックの年を迎えました。スポーツの祭典を彩る文化プログラムの中で、訪れるすべてのお客様に楽しんでいただける演劇として、手話狂言をご披露できることを本当に嬉しく思っています。お力添え下さる品川区および十四世六平太記念財団の皆様には心から感謝しています。

「狂言ってこんなに面白くて、知らなかった！」見終わった後こう仰るお客様がたくさんいらっしゃるのも嬉しいことです。とにかく楽しんでいただけることは絶対です。ぜひご覧いただきたいと思います。そしてよろしく願います。



公益財団法人十四世六平太記念財団
理事長 近衛 忠大

品川区上大崎4丁目に位置する喜多能楽堂は約450年の伝統を伝える能楽・喜多流の本拠地です。この能楽堂の運営を担う私ども公益財団法人十四世六平太記念財団は、喜多流の能楽公演をはじめ能楽普及のためのさまざまな活動を展開してまいりました。特に同じ品川区で活動を続ける社会福祉法人トット基金様との連携によって実現した「手話で楽しむ能狂言鑑賞会」は大きな反響をいただきましたが、これまで続けてきた子供たちや外国人に向けた事業も合わせて品川区から「東京 2020 NIPPON フェスティバル」への共催提案にお採りあげいただきましたこと感謝にたえません。

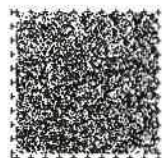
2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会を機会に、障がいの有無、年齢や国籍にかかわらずあらゆる人々が共に日本を代表する伝統演劇である能楽に親しんでいただければ幸いです。多くの皆様のご来場をお待ち申し上げます。

東京 2020 NIPPON フェスティバルについて

オリンピック・パラリンピックは、スポーツの祭典だけでなく「文化」の祭典でもあります。聖火リレーが始まり、世界中からの注目が東京・日本へ大きく集まるこの時期に、国・自治体・文化団体等が連携し日本の文化・芸術の力を国内外に発信する文化の祭典です。

問い合わせ先

- ◆ 品川区文化観光課文化振興係 <https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>
TEL 03-5742-6836 FAX 03-5742-6893
- ◆ 社会福祉法人トット基金 <http://www.totto.or.jp/>
TEL 03-3779-0233 FAX 03-3779-0206
- ◆ 公益財団法人十四世六平太記念財団 <http://kita-noh.com/>
TEL 03-3491-8813 FAX 03-3491-8999



東京2020 NIPPON フェスティバル共催プログラム

インクルーシブ

NIPPON

Shinagawa 発 2020 能・狂言特別公演

障がいの有無、年齢や国籍に関わらずあらゆる人が出会い、共に楽しみ、新たな価値を発見する共生社会の実現に向け、日本が世界に誇る伝統演劇である能楽のインクルーシブな可能性を品川区から世界へ向けて発信します



主催：品川区・社会福祉法人トット基金・公益財団法人十四世六平太記念財団
共催：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会





A Noh Discovering Tradition 能～伝統の発見

日時 2021年7月24日(土) 開演:午後1時
会場 十四世喜多六平太記念能楽堂(東京都品川区上大崎4-6-9)

在日・訪日外国人を対象に、能楽体験と公演鑑賞を通して能楽に触れていただく人気企画。体験を通して所作や発声など参加者に日本の伝統演劇のもつユニークな特色を発見いただくことを目指しています。
前半では謡(能のコーラス)、能の楽器(笛、小鼓、大鼓、太鼓)や能の扮装を解説を交えながら実演します。
そして後半は喜多流の「舍利」をご覧ください。贅沢な公演です。

出演者 金子敬一郎(シテ方喜多流)他。進行:リチャード・エマート
鑑賞サポート 英語による進行(日本語通訳無し)
主催 公益財団法人十四世六平太記念財団、品川区 共催 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会



B ~インクルーシブNIPPON~手話狂言 特別公演

日時 2021年8月1日(日) 開演:午後2時
会場 国立能楽堂(東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1)

オリンピックたけなわの週末(8/1)、国立競技場に近いう国立能楽堂で訪れるすべてのお客様が楽しめる演劇として手話狂言を披露。ユニセフ親善大使の黒柳徹子とともにお客様一人ひとりをおもてなしします。
演目:手話狂言「梟山伏」「墨塗」「六地藏」

出演者 お話:黒柳徹子/声の出演:三宅狂言会/井崎哲也、小泉文子、五十嵐由美子、砂田アトム、江副悟史、鈴まみ 他。
鑑賞サポート 字幕=日・英/車椅子対応/盲ろう対応(触る模型)/手話通訳(日本手話/国際手話)/音声通訳(英)フロアスタッフ(英・仏・国際手話)/その他個別鑑賞支援を実施。(事前相談制)
主催 社会福祉法人トット基金、品川区 共催 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

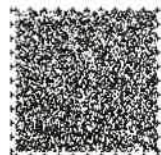


C “手話”で楽しむ能狂言鑑賞会

日時 2021年8月22日(日) 開演:午後1時
会場 十四世喜多六平太記念能楽堂

聞こえる人も聞こえない人も一緒になって能狂言を楽しんでほしい、そんな思いを込めて開催を続けている公演です。
日本ろう者劇団を迎え、手話狂言を披露いただくのに続き、手話同時通訳のみならず出演者自らが手話を交えて演じるという他に類を見ない能「土蜘蛛」の上演に取り組みます。
手話という“見る言葉”の力によって日本を代表する伝統演劇が新しい姿を見せていきます。

出演者 大島輝久(シテ方喜多流) 三宅近成(狂言方泉流)他。
鑑賞サポート ボディソニック席、ヒアリングループ席を用意 上演台本を載せたパンフレットを配布
主催 公益財団法人十四世六平太記念財団、品川区
共催 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会



写真提供:前島写真店/日本ろう者劇団



D 親子能楽鑑賞会

日時 2021年8月28日(土) 開演:午前9時30分
会場 十四世喜多六平太記念能楽堂

次代を担う子供たちに、体験を交えた能楽公演をご覧いただき、親子そろって日本を代表する伝統演劇「能」に親しんでいただく企画です。
能と狂言についての解説に続き、舞台では子供たちの希望者による小鼓や太鼓の体験を客席にも解説を交えながらご覧いただけます。
後半は狂言「盆山」と能「小鍛冶」をお楽しみいただけます。

出演者 友枝真也(シテ方喜多流) 野村拳之介・能村晶人(狂言方泉流)他。
鑑賞サポート 当日はカラーイラストが好評の解説パンフレットを配布 未就学児童の入場も可能
主催 公益財団法人十四世六平太記念財団、品川区 共催 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会



E ろう児のための手話狂言ワークショップ

日時 2021年8月29日(日) 開演:午後1時30分
会場 十四世喜多六平太記念能楽堂

未来の狂言師生まれ!次代に継承するレガシーとして、将来の手話狂言の演者育成をはかる事業です。手話の手ほどきもしますので、聞こえる子供たちにもオススメです。

出演者 講師:狂言=三宅近成(和泉流)/手話狂言=江副悟史(日本ろう者劇団)
鑑賞サポート 国際手話/日本手話/音声英仏通訳
主催 社会福祉法人トット基金、品川区 共催 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
協力 公益財団法人十四世六平太記念財団

新型コロナウイルス感染症予防対策のお願い

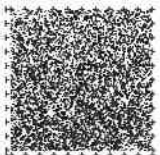
皆様に安心して公演を楽しんでいただけますよう下記の方はご来場をお控えください。

- ・発熱(37.5度以上)の方、体調不良の方
- ・新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある方
- ・過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴がある方

来場時にご協力をお願いします。

- ・マスクの着用、手洗い、手指消毒の徹底
- ・入場時の検温(37.5度以上の方は入場をお断りします)
- ・お客様との十分な社会的距離の確保
- ・館内での大声による会話は控える

※その他、各プログラムごとに主催者の指示に従ってください。



※各プログラムの詳細・最新情報については主催者ホームページ等をご覧ください。